

令和4年6月14日

各関係機関の長 殿

金沢大学ナノマテリアル研究所
研究所長 水野 元博

金沢大学ナノマテリアル研究所 特任助教（常勤・任期付）の公募について（依頼）

謹啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび、下記の要項により特任助教の公募を行うことになりましたので、貴機関関係者への周知及び適任者の推薦についてご高配を賜りたくお願い申し上げます。

謹白

1. 公募人員： 特任助教（常勤・任期付） 1名
2. 所 属： 金沢大学ナノマテリアル研究所（省エネデバイス開発グループ）
3. 公募研究領域：本研究グループ（徳田 規夫 教授、Zhang Xufang 特任助教、山崎聡特任教授、Christoph E. Nebel 招へい教授が在任）では、金沢大学超然プロジェクト2022「ダイヤモンド半導体先導研究拠点の形成」を推進しています。今回、量子・半導体応用を志向したダイヤモンドの成長や構造・物性の実験的解析を行う特任助教を募集します。本公募の特任助教は、本研究グループを中心に研究所のメンバーおよび電子情報通信学系のメンバーとも密接な連携をとり、研究を推進することが求められます。また、共同研究や研究成果のPR活動を国際的に遂行するための英語コミュニケーション能力も必要です。
4. 教育担当： 共通教育科目、理工学域電子情報通信学類電気電子コース（学士課程）、大学院自然科学研究科電子情報通信学専攻（博士前期課程）
5. 担当科目： 電気電子系の科目（講義や実験）
※ 英語による講義を担当いただく場合があります。
6. 勤務形態： 常勤の任期付き特任助教
任期は令和6年3月31日まで（単年度ごとに雇用更新）
（令和6年4月1日以降も本プロジェクトが継続する場合、任期を令和7年3月31日まで延長可）
※引き続きの本学在職歴を有する者については、当該期間を通算して10年を超えない範囲内での任期となります。
7. 給 与： 年俸制が適用されます。
8. 応募資格：
 - (1) 上記公募研究領域での研究実績があり、特任助教として本研究グループにおける研究プロジェクトを推進できる優れた研究者
 - (2) 博士の学位を有する方
 - (3) 研究、教育に熱意を有し、産官学連携等への積極性がある方

9. 着任時期： 令和4年12月1日以降のできるだけ早い時期

10. 提出書類：

- (1) 履歴書（写真添付、現住所、連絡先[電話番号、メールアドレス]、学歴、職歴、所属学会、賞罰等）
- (2) 研究業績（査読付原著論文、国際会議プロシーディングス、著書、解説、特許等に分類し、共著者名、発表機関、巻（号）、最初と最後のページ、著者、発表年月等を記載すること）。
- (3) 学会および社会における活動
- (4) 科学研究費補助金、受託研究、共同研究、寄附金等の外部資金の獲得状況
- (5) 教育・研究に対する抱負（A4用紙、1000字程度）
- (6) 主要論文の別刷（3編以内、コピー可）
- (7) これまでの研究活動および教育活動とその状況（A4用紙、1000字程度）
- (8) 応募者に関して意見を伺える方2名の氏名、所属、連絡先（電話番号およびメールアドレス）

上記項目(1)～(5)については、下記 URL に掲載されている「個人調書」に記入の上、応募してください。(6)～(8)は別紙となります。

http://nanomari.w3.kanazawa-u.ac.jp/_wp/wp-content/uploads/2022/06/curriculum_vitae_202205_NanoMaRi-2.doc

11. 応募締切：令和4年8月31日（水）必着

12. 選考方法：書類選考の上、候補者に対し面接（プレゼンテーション、英語での模擬授業など）を行います。面接の旅費等は自己負担となります。選考、及び面接結果については、本人に直接通知します。

13. 書類提出先： 〒920-1192 石川県金沢市角間町
金沢大学 ナノマテリアル研究所 所長 水野元博

14. 問い合わせ先： 〒920-1192 石川県金沢市角間町
金沢大学 ナノマテリアル研究所 教授 徳田規夫
Tel: 076-234-4875 E-mail: tokuda@se.kanazawa-u.ac.jp

15. その他：

- (1) 応募書類は、封筒表面に「ナノマテリアル研究所特任助教公募書類在中」と朱書きの上、簡易書留にて郵送してください。応募書類は返却しません。
- (2) 就業規則に関する規程については、下記 URL をご覧ください。
<https://www.kanazawa-u.ac.jp/university/administration/regulation/rules>
- (3) 金沢大学では、教員の英語による教授能力向上と、英語による開講科目の増設などを前提とした英語教育に取り組んでいます。下記 URL をご覧ください。
<https://sgu.adm.kanazawa-u.ac.jp/kusgu/project.html>
- (4) 金沢大学では、ダイバーシティ研究教育環境の整備を推進しています。下記 URL をご覧ください。
<https://cdl.w3.kanazawa-u.ac.jp/index.html>
- (5) 男女共同参画社会基本法の趣旨に則り、ナノマテリアル研究所では女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

以上